

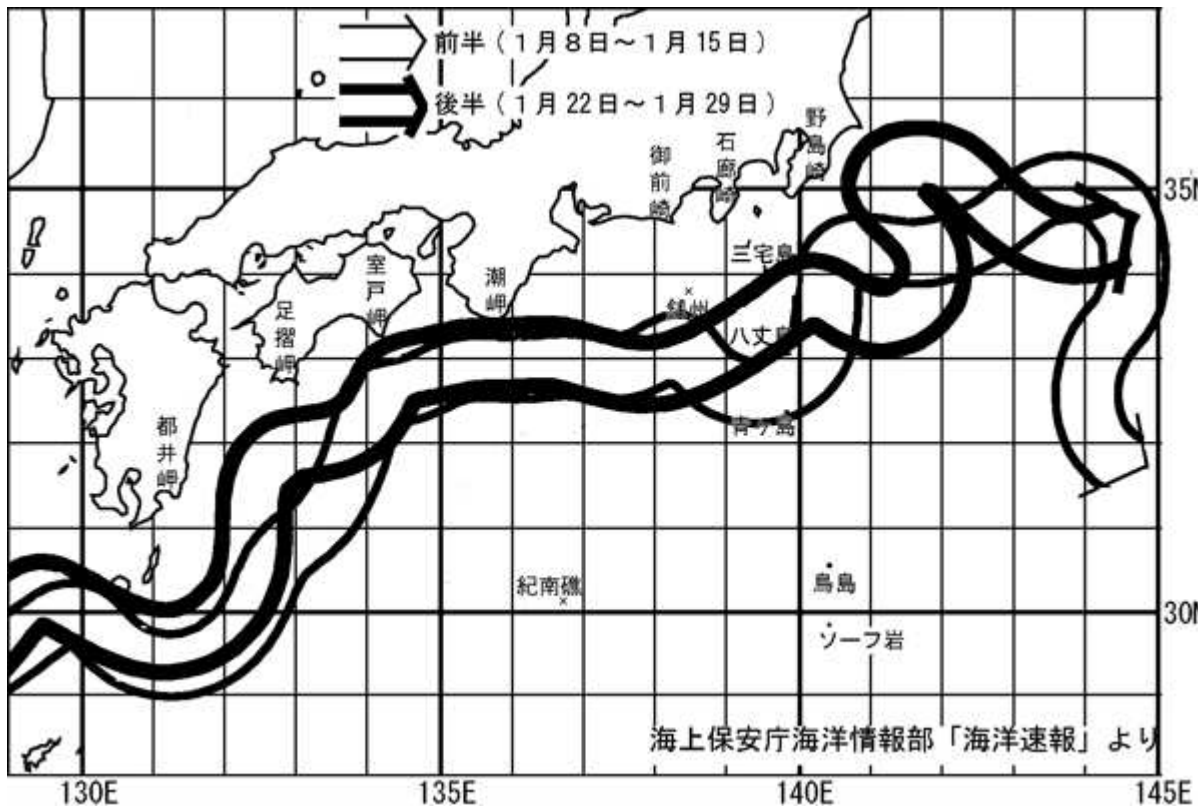
漁海況月報

平成20年1月1日

No. 1 ~ 1月31日

静岡県水産技術研究所
(電話 054-627-1815)

静岡県水産技術研究所伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



定地水温の旬平均値 (°C) (下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.3	15.4	15.2	14.6	14.9	15.1	11.6
	-1.0	-0.5	0.0	-1.0	-0.8	0.3	-1.4
中旬	14.3	13.9	14.9	15.0	14.4	14.6	11.2
	-0.6	-1.4	0.2	-0.1	-0.6	0.3	-1.1
下旬	13.8	14.7	14.6	15.3	15.2	15.2	10.6
	-0.6	-0.2	0.3	0.6	0.7	1.2	-1.3
月	14.1	15.0	14.8	15.0	14.9	15.0	11.1
	-0.8	-0.3	0.1	-0.1	-0.1	0.6	-1.3

【黒潮流路】

月前半の黒潮は、九州東岸から足摺岬にかけて離岸し、室戸岬から潮岬にかけて接岸した後に33° N付近を東進した。その後、御前崎沖から南東に流れ相模灘沖32° 30' N付近まで離岸した後、八丈島付近を通り140° E付近を北上した。

月後半の黒潮は、九州東岸から足摺岬にかけて離岸し、室戸岬から潮岬にかけて接岸した後33° N付近を東進した。前半の伊豆諸島周辺での蛇行部が東進した結果、御前崎沖から北東に流れ、八丈島付近を通り伊豆諸島東で33° N付近まで南下した後141° 付近をS字状に北上した。特に下旬には、房総半島への接岸が顕著であった。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾では13~16°C台、駿河湾東部では13~16°C、駿河湾西部では9~16°C台で経過した。

上中旬においては、県下沿岸への暖水波及はなく各地ともやや低めから平年並みの水温で経過した。下旬には、駿河湾への暖水波及があり駿河湾東部、西部はやや高めの水温となった。

【竿釣近海カツオ】

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は95トンを前年同期の198%であった。魚価は255円/kgで、前年同期を下回った。

静岡県船は、下旬から今年の操業を開始し、東海神場・ハロース周辺海域で特特大、特大大、中、小、極小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期間	水揚量 (ト)	水揚隻数	水揚/隻 (ト)	平均単価 (円/kg)
20年1月上旬	0	0	—	—
中旬	0	0	—	—
下旬	95	3	31.5	255
20年1月計	95	3	31.5	255
19年1月計	48	2	24.1	278
18年1月計	29	1	29.3	257

【定置網】

平成20年1月、伊豆半島東岸大型定置網8か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は134トンを、操業がなかった赤石を除く1漁場当たり水揚量15.7トンは前年16.6トン(6漁場)の95%、平年値(昭和57~平成18年)20.9トンの75%であった。

魚種別水揚量は、①スルメイカ55.8トン(A:前年同月比128%、B:平年同月比243%)②サバ類20.9トン(A:1032%、B:156%)③マアジ7.3トン(A:55%、B:78%)④サワラ6.3トン(A:前年57,673%、B:2,814%)⑤カタクチイワシ2.9トン(A:185%、B:9%)の順であった。

スルメイカは北川、川奈、富戸を中心に入網し、外套背長のモードは26cmであった。サバ類はゴマサバ中心で、北川、富戸、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは26cmにみられた。マアジは北川、川奈を中心に入網し、尾叉長のモードは21cmであった。サワラは川奈に集中的に入網し昭和57年以降で最も多く水揚げされたが、尾叉長は測定できなかった。カタクチイワシは、古網に集中

的に入網し、尾叉長は測定できなかった。

漁場別水揚量は、北川 52 トン（スルメイカ、サバ類中心）、川奈 22 トン（サワラ、スルメイカ中心）、古網 14 トン（カタクチイワシ、サバ類、スルメイカ中心）の順であった。

【サバたもすくい棒受網】

年明けの出漁は中旬に入ってからとなり、小川港にはたもすくい、棒受網によってゴマサバ 464 トンが水揚げされた。漁場は三宅島及び三本周辺海域に形成され、尾叉長 23～29cm のゴマサバ 1 歳魚（2007 年級群）と思われるものを主体に、30cm を超える 4 歳魚（2004 年級群）と思われるものが混じって漁獲された。1kg 当たりの平均単価は 98 円で前年（50 円）を上回った。

小川港 サバ類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1 隻当り (トン)	漁 場
平成20年 上旬	—	—	—	—	
1月 中旬	206	4	8	25.7	三宅、三本
下旬	258	4	9	28.7	三宅、三本
計	464	8	17	27.3	-----
平成17年1月	474.7	15	27	17.6	三宅、三本
平成16年1月	512	9	18	28.5	三宅、三本、御蔵

水揚量については、各旬で四捨五入しているため計と一致しない。

【シラス船曳網】

1日1か統当りの漁獲量は、駿河湾では 113kg、遠州灘では 192kg、主要 6 港平均では 149kg で、前年同期(168kg)の 88%、平年同期（過去 5 年平均：107kg）の 139%と、前年を下回り、平年を上回った。総水揚量は 32.2 トンで、前年同期(36.1 トン)の 89%、平年同期（18.1 トン）の 178%であった。平均単価は 958 円/kg で平年同期（1,051 円/kg）を下回った。

シラス水揚量（主要 6 港）

漁 港	水揚量 (トン)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統・日)	平均単価 (円/kg)
新 居	0.3	1	2	144	854
舞 阪	4.3	3	21	206	825
福 田	2.3	1	18	128	975
御前崎	11.9	5	57	208	867
吉 田	7.1	4	61	116	910
静 岡	6.4	3	58	110	1,268
平成 20 年 1 月計	32.2	17	217	149	958
平成 19 年 1 月計	35.8	15	214	167	943
平成 18 年 1 月計	14.0	15	163	86	837

【まき網】

マイワシの水揚げは、小川港では極僅か（平年同期 56.5 トン）で、沼津港では 0.1 トン（同 67.6 トン）、伊東港でも 0.1 トン（同 0.9 トン）と、極めて低調であった。静浦港での水揚げはなかった。

注）平年同期：過去 5 年（2003～2007 年）平均

【調査船の動向】

富 士 丸

1月23日 ～

第5次南方カツオ航海調査中
(1月24,25日は除く)

駿 河 丸

1月7日	～	1月8日	地先定線観測（駿河湾、遠州灘、伊豆沖）	(2日間)
1月10日	～	1月11日	地先定線観測（伊豆沖）	(2日間)
1月15日	～	1月16日	サバ調査（三宅島）	(2日間)
1月22日	～	1月23日	サクラエビ IKMT 調査（駿河湾）	(2日間)
1月28日	～	1月29日	マリンロゴ調査（駿河湾）	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

携帯電話からは…… <http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/imode/index.htm>

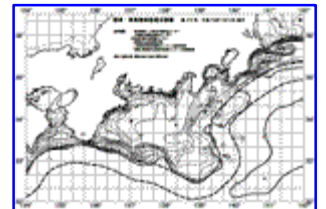
右のQRコードをご利用ください。人工衛星 NOAA による海面の水温分布画像を見ることができます。



おしらせ

水産技術研究所のホームページでは、高精度で広範囲の海の様子がわかる「高精度海況図」の提供を始めました。

現在は試行期間のため、更新の遅れなどが生じた場合はご了承ください。正式発行は平成20年4月からを予定しています。



ご意見、ご要望などありましたら、下記までお知らせ下さい

水産技術研究所 054-627-1817（資源海洋研究室、普及室）

メールアドレス suishi@shizuokanet.ne.jp